

## 平成 29 年度(2017 年度)の選手登録についての大事なお知らせ

平成 29 年(2017 年)4 月 1 日より選手登録費は値上げされます。

1、団体所属選手の場合 年間 5 千円(一般・マスターズの場合)

2、個人登録選手の場合 年間 1 万円(一般・マスターズの場合)

※団体登録費、審判員登録費については変更ありません。また、選手登録の大学生・高校生も変更ありません。

**団体登録及び団体所属の選手登録の受付を 2 月 1 日より、個人登録の受付を 2 月 15 日より開始します。**

審判員登録の受け付けは 3 月 1 日からを予定しております。

個人の選手登録及び審判員登録に関して従来どおり JPA のホームページから受付をします。

(特別な事情がある場合はファクスと現金書き留めも可とします)

所定の手続き後、上記の登録料の振込を確認後、各選手に「\*選手 ID\*」が発行され申込登録で指定したメールアドレスに返信されます。

※団体所属の選手は団体の代表者へ送付されます

また、ご自分で ID 番号をお調べになりたい場合はホームページ上で検索できるようにします。(予定)

なお、選手証は発行されません

どうしても必要、またはご希望される場合は事務手数料 500 円をお支払いいただくことで発行いたします。

平成 29 年度(2017 年度)の登録については「[団体登録・選手登録・審判員登録\(平成 29 年度\)](#)」のページからアクセスしてください。

平成 28 年度(2016 年度)の登録については「[団体登録・選手登録・審判員登録\(平成 28 年度\)](#)」のページにアクセスしてください。

## 団体登録・選手登録・審判員登録の変更について

これまで、団体登録・選手登録・審判員登録については各都道府県協会へ申請をしていただいておりますが、2016年7月1日(金)からは日本パワーリフティング協会本部にて受付を行うよう変更となります。

申請についてはメール又は登録フォームからとなります。なお、ホームページを閲覧する環境がない方については各都道府県協会から申請書を受領し日本パワーリフティング協会へFAXにて申請書を送付してください。個人の選手登録については郵送(現金書留)での申請も受け付けます。

ドーピング違反が2件発生したことにより各登録情報の管理強化を目的としております。

お手数をお掛けいたしますがご理解・ご協力をお願いいたします。

登録については「[団体登録・選手登録・審判員登録](#)」のページにアクセスしてください。

<http://www.jpa-powerlifting.or.jp/>

(公社) 日本パワーリフティング協会  
公認審判員 各位

(公社) 日本パワーリフティング協会  
技術委員会 阿南 喜裕  
(公印省略)

## 公認審判員ランキング制度に関して

平成29年度より、JPA主催全国競技会における「公認審判員ランキング制度」を導入致します。年度間(4月1日～翌年3月31日間)の実務状況に対する評価を数値化し、ホームページ上に公表致します。

### 【目的】

資格取得後の各階級公認審判員に対し、①モチベーション向上 ②技量水準向上 を目的とします。

### 【対象者および対象競技会】

当該年度登録済みの全公認審判員で、かつJPA主催の各種全国競技会に実務参加された者

### 【評価方法】

実務内容、ルールに対する見識、審判員としての立ち居振る舞い等を、客観的に数値化し評価される。採点の結果、上位の者は後日ホームページ上にて発表される。

審査員は、技術委員長、大会審判長または技術委員長が指名する者を含め、3名程度で構成される。

採点は、審査員3名の多数決(中央値)で行われる。

評価は、以下の基準で行う。

#### ①実務内容(3段階評価)に対する得点

優(1)、可(0)、今後に期待(-1)

同日複数回実務をされた際は、日每一括の評価とする。

複数日実務をされた際は、各日の得点の平均値とする。(小数点以下切り捨て)

各評価に対しての得点は、以下のとおりとする。

(1):70、(0):50、(-1):30

#### ②実務日数(1競技会当たり)

上記評価に対する点数を、次の実務日数に対する係数で掛け合わせる。

1日:1.0、2日:1.2、3日:1.5、4日:1.8、5日以上:2.0

#### ③特別評価

当該大会ごとに最優秀審判員を選出する。

各審査員ごとに3名ずつ候補者を絞り、最終的には審査員3名による審議により3名を選出する。

選出された審判員に対しては、実務日数に2日を加算した係数での点数を付与する。

④年間表彰

各競技会毎で採点された点数を集計し、年間ランキングを作成発表する。  
 上位者に対しては、全日本選手権等において表彰の対象とする。  
 なお、表彰対象には規定参加競技会数を設けるものとする。

⑤記録

審判員評価として記録されるものは、各審判員ごとに以下のものとする。  
 総得点、平均得点、獲得係数参加競技会数、得点率（総得点／獲得係数参加競技会数）

【今後の見通し】

通年での総得点、得点率が優秀な審判員に対しては、全日本選手権での重要ポジションへの着任、昇級試験に対する優遇措置、各種審判員試験の試験官への登用、国際審判員試験受験に向けてのバックアップ、等を検討する。なお、近年中に昇級試験受験基準として採用する見込みである。  
 また、国際審判員に対しては、派遣国際選手権への優先順位等にも反映させることも検討する。

(例) 公認審判員実務評価シートのサンプル

公認審判員実務評価シート 評価担当者名: \_\_\_\_\_ ページ: 1 / 2

大会名: 第45回男子・第40回女子・第35回ジュニア・第34回マスターズ 全日本パワーリフティング選手権大会  
 日程: 平成29年5月27日(金)～29日(日)  
 会場: 神戸市中央体育館

※ 各審判員の判定技量、ルールに対する見識、審判員としての言動を客観視し、各日毎に3段階評価をします。  
 凡例… 1:優秀 0:可 -1:今後に期待 該当する□に✓を記入して下さい。  
 詳細欄は、その様に評価された明確な理由があれば、簡潔に記しておいてください。  
 ※ 全日程を通して、最も優れた審判員を3名まで選出していただきます。総合欄を用いて明記して下さい。  
 可能であれば、特記事項欄にその理由も記入願います。  
 ※ 評価担当者が評価対象者欄に含まれる場合、自己評価で構いません。なお、最優秀選考も対象です。

Lot	氏名	所属	国内	国際	評 価									特記事項	
					総合 最優秀	実 務 日			5/27(金)	5/28(土)	5/29(日)	5/27(金)	5/28(土)		5/29(日)
						□2	□1	□0							
1	阿南 喜裕	岡山	1	1	□2	□1	□0	□-1	□1	□0	□-1	□1	□0	□-1	
					詳細:										
2	荒川 大介	東京	1	2	□2	□1	□0	□-1	□1	□0	□-1	□1	□0	□-1	
					詳細:										
3	八木 為総	京都	2	-	□2	□1	□0	□-1	□1	□0	□-1	□1	□0	□-1	
					詳細:										
4	菊地 昌宏	秋田	3	-	□2	□1	□0	□-1	□1	□0	□-1	□1	□0	□-1	
					詳細:										
5	高橋 美和子	東京	3	-	□2	□1	□0	□-1	□1	□0	□-1	□1	□0	□-1	
					詳細:										

以上

国際大会派遣選手選考基準

＜ 2017年度／平成29年度＞

技委発第16-3号通達  
平成29年 1月 1日  
JPA技術委員会

国際大会派遣選手選考規程第2条第2項の規定に基づいて、以下のとおり定める。

1 国際大会の選考大会

・2017年度における国際大会の参加選手の選考大会となる全日本選手権大会は、次のとおりとする。

世界男子・女子パワーリフティング選手権大会	2017年度全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会（6月・長野）
世界マスターズパワーリフティング選手権大会	2017年度全日本マスターズパワーリフティング選手権大会（6月・長野）
世界ジュニアパワーリフティング選手権大会	2017年度全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会（6月・長野）
世界サブジュニアパワーリフティング選手権大会	2017年度全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会（6月・長野）
世界クラシックパワーリフティング選手権大会（ノーギア）（全カテゴリー含む）	・（マスターズ以外）2016年度ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（2月25-26日・愛知） ・（マスターズ）2016年度ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会（2016年9月17-18日・秋田）
世界ベンチプレス選手権大会（フルギア）（全カテゴリー含む）	2016年度全日本ベンチプレス選手権大会（2017年3月11-3月12日・静岡）
世界クラシックベンチプレス選手権大会（ノーギア）（全カテゴリー含む）	2016年度ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会（2016年11月26-27日・東京）
世界学生パワーリフティングカップ（ノーギア）	2016年度全日本学生パワーリフティング選手権大会（2016年7月24・東京）と、2016年度ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（2月25-26日・愛知）における総合評価
アジアパワーリフティング選手権大会	・（サブジュニア以外）2016年度全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会（2016年5月27-29日・兵庫） ・（サブジュニア）2015年度全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会（2016年3月27日・埼玉）
アジアクラシックパワーリフティング選手権大会（ノーギア）	・（マスターズ以外）2016年度ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（2月25-26日・愛知） ・（マスターズ）2016年度ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会（2016年9月17-18日・秋田）
アジアベンチプレス選手権大会	2016年度全日本ベンチプレス選手権大会（2017年3月11-3月12日・静岡）
アジアクラシックベンチプレス選手権大会（ノーギア）	2016年度ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会（2016年11月26-27日・東京）

・上記以外の国際大会については、その都度、選考条件等を明確にして対応する。

## 2 国際大会参加標準記録

### (1) 世界男子・女子

選考大会となる全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、かつトータルが一般の全日本大会参加標準記録の105%以上。

### (2) 世界マスターズ

選考大会となる全日本マスターズパワーリフティング選手権大会において4位以内に入賞し、かつトータルが一般の全日本大会参加標準記録に対して、マスターズⅠは90%以上、マスターズⅡは85%以上、マスターズⅢは80%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

### (3) 世界ジュニア

選考大会となる全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、かつトータルが一般の全日本参加標準記録の90%以上。

※女子43kg級は215kg、男子53kg級は412.5kgを参加標準記録とする。

### (4) 世界サブジュニア

選考大会となる全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、トータルが一般の全日本参加標準記録の75%以上。

※女子43kg級は180kg、男子53kg級は345kgを参加標準記録とする。

※高校連盟との申し合わせにより、選手枠に空きがある場合は、そのクラスの準優勝者で国際大会参加標準記録を達成した競技者の中から、フォーミュラの高い順に選考する。ただし、辞退者がいても繰り上げない。

### (5) 世界クラシックパワー

・一般（シニア）については、選考大会となるジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、かつトータルがノーギア一般の全日本参加標準記録の105%以上。

※女子の参加標準記録基準値は、フルギア一般女子標準記録の75%の値を代用する。

・マスターズについては、選考大会となるジャパンマスターズクラシック選手権大会において4位以内に入賞し、かつトータルがノーギア一般の全日本大会参加標準記録に対して、マスターズⅠは90%以上、マスターズⅡは85%以上、マスターズⅢは80%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

・ジュニアについては、選考大会となるジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（ジュニア）において3位以内に入賞し、かつトータルがノーギア一般の全日本参加標準記録の90%以上。

・サブジュニアについては、選考大会となるジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（サブジュニア）において3位以内に入賞し、記録がノーギア一般の全日本標準記録の75%以上。

※ジュニア女子43kg級は155kg、男子53kg級は310kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は127.5kg、男子53kg級は257.5kgを参加標準記録とする。

※女子の参加標準記録基準値は、フルギア一般女子標準記録の75%の値を代用する。

### (6) アジアパワー（シニア・マスターズ・ジュニア・サブジュニア）

・各選考大会において4位以内に入賞していること。

・一般（シニア）については、選考大会となる全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録の100%以上。

・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となる全日本マスターズ、ジュニア、サブジュニア選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録に対して、ジュニア・マスターズⅠは85%、マスターズⅡは80%、サブジュニア・マスターズⅢは70%以上、マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は202.5kg、男子53kg級は390kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は167.5kg、男子53kg級は320kgを参加標準記録とする。

### (7) アジアクラシックパワー（シニア・マスターズ・ジュニア・サブジュニア）

・各選考大会において4位以内に入賞していること。

・一般（シニア）については、選考大会となるジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会において、トータルがノーギア一般の全日本参加標準記録の100%以上。

※女子の参加標準記録基準値は、フルギア一般女子標準記録の75%の値を代用する。

・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となる各種ジャパンクラシックマ

スターズ、ジュニア、サブジュニア選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録に対して、ジュニア・マスターズⅠは85%、マスターズⅡは80%、サブジュニア・マスターズⅢは70%以上、マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は142.5kg、男子53kg級は292.5kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は117.5kg、男子53kg級は240kgを参加標準記録とする。

(8) 世界ベンチプレス

選考大会となる全日本ベンチプレス選手権大会において3位以内に入賞し、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の125%以上。

(9) 世界マスターズベンチプレス

選考大会となる全日本マスターズベンチプレス選手権大会において4位以内に入賞し、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録に対して、マスターズⅠは100%、マスターズⅡは90%、マスターズⅢは80%以上、マスターズⅣは記録を定めない。

(10) 世界ジュニア・サブジュニアベンチプレス

・ジュニアについては、選考大会となる全日本ジュニアベンチプレス選手権大会において3位以内に入賞し、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の100%以上。

・サブジュニアについては、選考大会となる全日本サブジュニアベンチプレス選手権大会において3位以内に入賞し、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の80%以上。

※ジュニア女子43kg級は55kg、男子53kg級は120kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は42.5kg、男子53kg級は95kgを参加標準記録とする。

(11) 世界クラシックベンチプレス

・各選考大会において3位以内に入賞していること。

・一般(シニア)については、選考大会となるジャパングラシックベンチプレス選手権大会において、記録が一般のジャパングラシックベンチプレス参加標準記録の125%以上。

※女子の参加標準記録基準値は、フルギア一般女子標準記録の75%の値を100%として代用する。

・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となるジャパングラシックマスターズ、ジュニア、サブジュニアベンチプレス選手権大会において、記録が一般のジャパングラシックベンチプレス参加標準記録の、ジュニア・マスターズⅠは85%、マスターズⅡは80%、サブジュニア・マスターズⅢは70%以上、マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は32.5kg、男子53kg級は75kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は27.5kg、男子53kg級は62.5kgを参加標準記録とする。

(12) アジアベンチプレス

・各選考大会において4位以内に入賞していること。

・一般(シニア)については、選考大会となる全日本ベンチプレス選手権大会において、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の100%以上。

・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となる全日本マスターズ、ジュニア、サブジュニアベンチプレス選手権大会において、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の、ジュニア・マスターズⅠは85%、マスターズⅡは80%、サブジュニア・マスターズⅢは70%以上、マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は45kg、男子53kg級は100kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は37.5kg、男子53kg級は82.5kgを参加標準記録とする。

(13) アジアクラシックベンチプレス

・各選考大会において4位以内に入賞していること。

・一般(シニア)については、選考大会となるジャパングラシックベンチプレス選手権大会において、記録が一般のジャパングラシックベンチプレス参加標準記録の100%以上。

※女子の参加標準記録基準値は、フルギア一般女子標準記録の75%の値を100%として代用する。

・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となるジャパングラシックマスターズ、ジュニア、サブジュニアベンチプレス選手権大会において、記録が一般のジャパングラシックベンチプレス参加標準記録の、ジュニア・マスターズⅠは85%、マスターズⅡは80%、サブジュニア・マスターズⅢは70%以上、マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は32.5kg、男子53kg級は75kgを参加標準記録とする。



※サブジュニア女子43kg級は27.5kg、男子53kg級は62.5kgを参加標準記録とする。

(14) 世界学生パワー

別途定めるものとする。

3 選考方法（国際大会派遣選手選考規程第3条、第6条及び第8条に準拠する）

- ・上記「1」に示す国際大会の選考大会にて、各国際大会の参加標準記録を突破した選手に、国際大会参加権利が与えられる（優勝しても上記参加標準記録を突破していなければ選考対象にならない）。
- ・選手選考では、原則として各階級1名を選考する。但し、空き枠の発生により同階級内2名までの選考を認めることがある。
- ・選考の時点では、いかなる場合も選考会出場階級以外での国際大会参加権利は与えられないものとする（選手団結成後において、階級変更が生じる場合、各国際大会選手団長の判断に委任する。但し、同じクラスに3名の選手が出場を希望した場合、そのクラスの優勝者が最優先となり、あとはフォーミュラの高い方が優先となる）。
- ・選考の優先順位は次の通りである。
  - ① そのクラスの優勝者で上記国際大会の参加標準記録を突破している者。
  - ② 上記①の該当者が辞退した場合、辞退者と同階級の2位の選手で上記国際大会の参加標準記録を突破している者。
  - ③ この時点で空き枠が発生する場合、②に該当しない各階級2位の選手で上記国際大会の参加標準記録を突破している者の中から、フォーミュラの高い順に選考する。
  - ④ この時点で空き枠が発生する場合、②及び③の選考方法に準じ3位、またはそれ以下に繰り下げて選考する。

4 選手選考における付加条件

- ・カレンダーイヤーで、国際大会の出場時点ではマスター各カテゴリーであるが、選考大会の開催時点では、そのカテゴリーに達していない競技者の場合、選考大会時は適正カレンダーイヤーのカテゴリーで出場し、国際大会出場予定時の該当カテゴリーでの選考対象に加える。
- ・優勝者のカテゴリーが変わり、空き枠が発生した場合、2位以下をそれぞれ繰り上げて選考する。
- ・マスターズクラスの選考に関しては、各選手の出場年齢カテゴリーごとに選考する。

例1：選考大会出場時はカレンダーイヤー39歳だが、国際大会出場時は40歳になる場合。

⇒選考大会となる全日本マスターズ選手権大会はオープンで参加し、マスターIの優勝者と記録を比べ、上回った方が優先権を得る。

例2：選考大会出場時はカレンダーイヤー49歳だが、国際大会出場時は50歳になる場合。

⇒選考大会となる全日本マスターズ選手権大会はマスターIで参加し、マスターIIの優勝者と記録を比べ、上回った方が優先権を得る。

5 その他

- ・技術委員会及び国際委員会は、選手団の編成や国際大会選手派遣に関する業務に支障を来す言動を取る競技者がいる場合、当該競技者を選考対象及び選手団の編成から外することができる。

以上

# 国際大会派遣選手選考基準一覧

2017年1月1日 現在

## パワーリフティング(3種)競技 【フルギア選考】

女子	%標準	世界派遣標準記録 World Championships							アジア派遣標準記録 Asian Championships						
		105	75	90	90	85	80	70	100	70	85	85	80	70	
ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	
43	240	-	190	215	-	-	-	-	-	167.5	202.5	-	-	-	
47	255	267.75	191.25	229.5	229.5	216.75	204	-	255	176.5	216.75	216.75	204	-	
52	280	294	210	252	252	238	224	-	280	196	238	238	224	-	
57	300	315	225	270	270	255	240	-	300	210	255	255	240	-	
63	315	330.75	236.25	283.5	283.5	267.75	252	-	315	220.5	267.75	267.75	252	-	
72	330	346.5	247.5	297	297	280.5	264	-	330	231	280.5	280.5	264	-	
84	345	362.25	258.75	310.5	310.5	293.25	276	-	345	241.5	293.25	293.25	276	-	
84+	350	367.5	262.5	315	315	297.5	280	-	350	245	297.5	297.5	280	-	
男子	ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4
53	460	-	345	412.5	-	-	-	-	-	320	390	-	-	-	
59	515	540.75	386.25	463.5	463.5	437.75	412	-	515	380.5	437.75	437.75	412	360.5	
66	570	598.5	427.5	513	513	484.5	456	-	570	399	484.5	484.5	456	399	
74	620	651	465	558	558	527	496	-	620	434	527	527	496	434	
83	670	703.5	502.5	603	603	569.5	536	-	670	469	569.5	569.5	536	469	
93	710	745.5	532.5	639	639	603.5	568	-	710	497	603.5	603.5	568	497	
105	745	782.25	558.75	670.5	670.5	633.25	596	-	745	521.5	633.25	633.25	596	521.5	
120	775	813.75	581.25	697.5	697.5	658.75	620	-	775	542.5	658.75	658.75	620	542.5	
120+	790	829.5	592.5	711	711	671.5	632	-	790	553	671.5	671.5	632	553	

## 【ノーギア選考】

女子	%標準	世界派遣標準記録 World Championships							アジア派遣標準記録 Asian Championships						
		105	75	90	90	85	80	70	100	70	85	85	80	70	
ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	
43	170	-	127.5	155	-	-	-	-	-	117.5	142.5	-	-	-	
47	190	199.5	142.5	171	171	161.5	152	-	190	133	161.5	161.5	152	-	
52	210	220.5	157.5	189	189	178.5	168	-	210	147	178.5	178.5	168	-	
57	225	236.25	166.75	202.5	202.5	191.25	180	-	225	157.5	191.25	191.25	180	-	
63	237.5	249.375	178.125	213.75	213.75	201.875	190	-	237.5	166.25	201.875	201.875	190	-	
72	250	262.5	187.5	225	225	212.5	200	-	250	175	212.5	212.5	200	-	
84	260	273	195	234	234	221	208	-	260	182	221	221	208	-	
84+	265	278.25	198.75	238.5	238.5	225.25	212	-	265	185.5	225.25	225.25	212	-	
男子	ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4
53	345	-	257.5	310	-	-	-	-	-	240	292.5	-	-	-	
59	385	404.25	286.75	346.5	346.5	327.25	308	-	385	283.5	327.25	327.25	308	269.5	
66	425	446.25	318.75	382.5	382.5	361.25	340	-	425	297.5	361.25	361.25	340	297.5	
74	465	488.25	348.75	418.5	418.5	395.25	372	-	465	325.5	395.25	395.25	372	325.5	
83	500	525	375	450	450	425	400	-	500	350	425	425	400	350	
93	530	556.5	397.5	477	477	450.5	424	-	530	371	450.5	450.5	424	371	
105	560	588	420	504	504	476	448	-	560	392	476	476	448	392	
120	580	609	435	522	522	493	464	-	580	406	493	493	464	406	
120+	590	619.5	442.5	531	531	501.5	472	-	590	413	501.5	501.5	472	413	

## ベンチプレス(シングル)競技 【フルギア選考】

女子	%標準	世界派遣標準記録 World Championships							アジア派遣標準記録 Asian Championships						
		125	80	100	90	80	80	70	100	70	85	85	80	70	
ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	
43	55	-	42.5	55	-	-	-	-	-	37.5	45	-	-	-	
47	60	75	48	60	60	54	48	-	60	42	51	51	48	-	
52	65	81.25	52	65	65	58.5	52	-	65	45.5	55.25	55.25	52	-	
57	70	87.5	56	70	70	63	56	-	70	49	59.5	59.5	56	-	
63	75	93.75	60	75	75	67.5	60	-	75	52.5	63.75	63.75	60	-	
72	82.5	103.125	66	82.5	82.5	74.25	66	-	82.5	57.75	70.125	70.125	66	-	
84	90	112.5	72	90	90	81	72	-	90	63	76.5	76.5	72	-	
84+	95	118.75	76	95	95	85.5	76	-	95	66.5	80.75	80.75	76	-	
男子	ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4
53	120	-	95	120	-	-	-	-	-	82.5	100	-	-	-	
59	135	168.75	108	135	135	121.5	108	-	135	94.5	114.75	114.75	108	94.5	
66	147.5	184.375	118	147.5	147.5	132.75	118	-	147.5	103.25	125.375	125.375	118	103.25	
74	160	200	128	160	160	144	128	-	160	112	136	136	128	112	
83	172.5	215.625	138	172.5	172.5	155.25	138	-	172.5	120.75	146.625	146.625	138	120.75	
93	185	231.25	148	185	185	166.5	148	-	185	129.5	167.25	167.25	148	129.5	
105	195	243.75	156	195	195	175.5	156	-	195	136.5	165.75	165.75	156	136.5	
120	200	250	160	200	200	180	160	-	200	140	170	170	160	140	
120+	205	256.25	164	205	205	184.5	164	-	205	143.5	174.25	174.25	164	143.5	

## 【ノーギア選考】

女子	%標準	世界派遣標準記録 World Championships							アジア派遣標準記録 Asian Championships						
		125	80	100	90	80	80	70	100	70	85	85	80	70	
ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	
43	40	-	32.5	40	-	-	-	-	-	27.5	32.5	-	-	-	
47	45	56.25	36	45	45	40.5	36	-	45	31.5	36.25	36.25	36	-	
52	47.5	59.375	38	47.5	47.5	42.75	38	-	47.5	33.25	40.375	40.375	38	-	
57	52.5	65.625	42	52.5	52.5	47.25	42	-	52.5	36.75	44.625	44.625	42	-	
63	57.5	71.875	46	57.5	57.5	51.75	46	-	57.5	40.25	48.875	48.875	46	-	
72	62.5	78.125	50	62.5	62.5	56.25	50	-	62.5	43.75	53.125	53.125	50	-	
84	67.5	84.375	54	67.5	67.5	60.75	54	-	67.5	47.25	57.375	57.375	54	-	
84+	70	87.5	56	70	70	63	56	-	70	49	59.5	59.5	56	-	
男子	ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4
53	90	-	72.5	90	-	-	-	-	-	62.5	75	-	-	-	
59	100	125	80	100	100	90	80	-	100	70	85	85	80	70	
66	110	137.5	88	110	110	99	88	-	110	77	93.5	93.5	88	77	
74	120	150	96	120	120	108	96	-	120	84	102	102	96	84	
83	130	162.5	104	130	130	117	104	-	130	91	110.5	110.5	104	91	
93	140	175	112	140	140	126	112	-	140	98	119	119	112	98	
105	147.5	184.375	118	147.5	147.5	132.75	118	-	147.5	103.25	125.375	125.375	118	103.25	
120	155	193.75	124	155	155	139.5	124	-	155	109.5	131.75	131.75	124	109.5	
120+	160	200	128	160	160	144	128	-	160	112	136	136	128	112	

# 国際大会派遣選手選考基準一覧

2016年1月1日 現在

## パワーリフティング(3種)競技 【フルギア選考】

女子	%標準	世界派遣標準記録 World Championships							アジア派遣標準記録 Asian Championships						
		105	75	90	90	85	80	70	100	70	85	85	80	70	
ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	
43	240	-	100	215	-	-	-	-	167.5	202.5	-	-	-	-	
47	255	267.75	191.25	229.5	229.5	216.75	204	-	255	178.5	216.75	216.75	204	-	
52	280	294	210	252	252	238	224	-	280	196	238	238	224	-	
57	300	315	225	270	270	255	240	-	300	210	255	255	240	-	
63	315	330.75	236.25	283.5	283.5	267.75	252	-	315	220.5	267.75	267.75	252	-	
72	330	346.5	247.5	297	297	280.5	264	-	330	231	280.5	280.5	264	-	
84	345	362.25	258.75	310.5	310.5	293.25	276	-	345	241.5	293.25	293.25	276	-	
84+	350	367.5	262.5	315	315	297.5	280	-	350	247	297.5	297.5	280	-	
男子	ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4
53	460	-	345	412.5	-	-	-	-	-	320	390	-	-	-	-
59	515	540.75	386.25	463.5	463.5	437.75	412	-	515	360.5	437.75	437.75	412	360.5	-
66	570	598.5	427.5	513	513	484.5	456	-	570	399	484.5	484.5	456	399	-
74	620	651	465	558	558	527	496	-	620	434	527	527	496	434	-
83	670	703.5	502.5	603	603	569.5	536	-	670	469	569.5	569.5	536	469	-
93	710	745.5	532.5	639	639	603.5	568	-	710	497	603.5	603.5	568	497	-
105	745	782.25	558.75	670.5	670.5	633.25	596	-	745	521.5	633.25	633.25	596	521.5	-
120	775	813.75	581.25	697.5	697.5	658.75	620	-	775	542.5	658.75	658.75	620	542.5	-
120+	790	829.5	592.5	711	711	671.5	632	-	790	553	671.5	671.5	632	553	-

## 【ノーギア選考】

女子	%標準	世界派遣標準記録 World Championships							アジア派遣標準記録 Asian Championships						
		105	75	90	90	85	80	70	100	70	85	85	80	70	
ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	
43	170	-	127.5	155	-	-	-	-	-	117.5	142.5	-	-	-	-
47	190	199.5	142.5	171	171	161.5	152	-	190	133	161.5	161.5	152	-	-
52	210	220.5	157.5	189	189	178.5	168	-	210	147	178.5	178.5	168	-	-
57	225	236.25	168.75	202.5	202.5	191.25	180	-	225	157.5	191.25	191.25	180	-	-
63	237.5	249.375	178.125	213.75	213.75	201.875	190	-	237.5	166.25	201.875	201.875	190	-	-
72	250	262.5	187.5	225	225	212.5	200	-	250	176	212.5	212.5	200	-	-
84	260	273	195	234	234	221	208	-	260	182	221	221	208	-	-
84+	265	278.25	198.75	238.5	238.5	225.25	212	-	265	186.5	225.25	225.25	212	-	-
男子	ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4
53	345	-	257.5	310	-	-	-	-	-	240	292.5	-	-	-	-
59	385	404.25	288.75	346.5	346.5	327.25	308	-	385	269.5	327.25	327.25	308	269.5	-
66	425	446.25	318.75	382.5	382.5	361.25	340	-	425	297.5	361.25	361.25	340	297.5	-
74	465	488.25	348.75	418.5	418.5	395.25	372	-	465	325.5	395.25	395.25	372	325.5	-
83	500	525	375	450	450	425	400	-	500	350	425	425	400	350	-
93	530	556.5	397.5	477	477	450.5	424	-	530	371	450.5	450.5	424	371	-
105	560	588	420	504	504	476	448	-	560	392	476	476	448	392	-
120	590	609	435	522	522	493	464	-	590	406	493	493	464	406	-
120+	590	619.5	442.5	531	531	501.5	472	-	590	413	501.5	501.5	472	413	-

## ベンチプレス(シングル)競技 【フルギア選考】

女子	%標準	世界派遣標準記録 World Championships							アジア派遣標準記録 Asian Championships						
		125	80	100	100	90	80	70	100	70	85	85	80	70	
ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	
43	55	-	42.5	55	-	-	-	-	-	37.5	45	-	-	-	-
47	60	75	45	60	60	54	48	-	60	42	51	51	48	-	-
52	65	81.25	52	65	65	58.5	52	-	65	45.5	55.25	55.25	52	-	-
57	70	87.5	56	70	70	63	56	-	70	49	59.5	59.5	56	-	-
63	75	93.75	60	75	75	67.5	60	-	75	52.5	63.75	63.75	60	-	-
72	82.5	103.125	66	82.5	82.5	74.25	66	-	82.5	57.75	70.125	70.125	66	-	-
84	90	112.5	72	90	90	81	72	-	90	63	76.5	76.5	72	-	-
84+	95	118.75	76	95	95	86.5	76	-	95	66.5	80.75	80.75	76	-	-
男子	ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4
53	120	-	95	120	-	-	-	-	-	82.5	100	-	-	-	-
59	135	168.75	108	135	135	121.5	108	-	135	94.5	114.75	114.75	108	94.5	-
66	147.5	184.375	118	147.5	147.5	132.75	118	-	147.5	103.25	125.375	125.375	118	103.25	-
74	160	200	128	160	160	144	128	-	160	112	136	136	128	112	-
83	172.5	215.625	138	172.5	172.5	155.25	138	-	172.5	120.75	146.625	146.625	138	120.75	-
93	185	231.25	148	185	185	166.5	148	-	185	126.5	157.25	157.25	148	126.5	-
105	195	243.75	156	195	195	175.5	156	-	195	136.5	165.75	165.75	156	136.5	-
120	200	250	160	200	200	180	160	-	200	140	170	170	160	140	-
120+	205	256.25	164	205	205	184.5	164	-	205	143.5	174.25	174.25	164	143.5	-

## 【ノーギア選考】

女子	%標準	世界派遣標準記録 World Championships							アジア派遣標準記録 Asian Championships						
		125	80	100	100	90	80	70	100	70	85	85	80	70	
ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	
43	40	-	32.5	40	-	-	-	-	-	27.5	32.5	-	-	-	-
47	45	56.25	36	45	45	40.5	36	-	45	31.5	36.25	36.25	36	-	-
52	47.5	59.375	38	47.5	47.5	42.75	38	-	47.5	33.25	40.375	40.375	38	-	-
57	52.5	65.625	42	52.5	52.5	47.25	42	-	52.5	36.75	44.625	44.625	42	-	-
63	57.5	71.875	46	57.5	57.5	51.75	46	-	57.5	40.25	48.875	48.875	46	-	-
72	62.5	78.125	50	62.5	62.5	56.25	50	-	62.5	43.75	53.125	53.125	50	-	-
84	67.5	84.375	54	67.5	67.5	60.75	54	-	67.5	47.25	57.375	57.375	54	-	-
84+	70	87.5	56	70	70	63	56	-	70	49	59.5	59.5	56	-	-
男子	ベース	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4	Sen	Sub-Jr	Junior	M1	M2	M3	M4
53	90	-	72.5	90	-	-	-	-	-	62.5	75	-	-	-	-
59	100	125	80	100	100	90	80	-	100	70	85	85	80	70	-
66	110	137.5	88	110	110	99	88	-	110	77	93.5	93.5	88	77	-
74	120	150	96	120	120	108	96	-	120	84	102	102	96	84	-
83	130	162.5	104	130	130	117	104	-	130	91	110.5	110.5	104	91	-
93	140	175	112	140	140	126	112	-	140	98	119	119	112	98	-
105	147.5	184.375	118	147.5	147.5	132.75	118	-	147.5	103.25	125.375	125.375	118	103.25	-
120	155	193.75	124	155	155	139.5	124	-	155	108.5	131.75	131.75	124	108.5	-
120+	160	200	128	160	160	144	128	-	160	112	136	136	128	112	-

関係各位

技術委員長 阿南 喜裕  
(公印省略)

平成29年度 JPAが主催する全国規模の競技会における出場標準記録について

1. 出場標準記録を設ける競技会

1-1. 表1に定める全国規模競技会(以下、「全国大会」と称す)においては「出場標準記録」を設けるものとし、選手はその記録以上の実績を有していなければならない。尚、出場標準記録は、性別、年齢カテゴリー、階級ごとに設けるものとし、その記録は別表による

【表1】 JPAが出場標準記録を設定する全国大会

競技会名	出場標準記録	男子 実施カテゴリー				女子 実施カテゴリー			
		一般	サブジュニア	ジュニア	マスターズ I~IV	一般	サブジュニア	ジュニア	マスターズ I~IV
1 全日本男子パワーリフティング選手権大会	表2	◎	—	—	—	—	—	—	—
2 全日本女子パワーリフティング選手権大会	表2	—	—	—	—	◎	—	—	—
3 全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会	表2	—	◎	—	—	—	◎	—	—
4 全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会	表2	—	—	◎	—	—	—	◎	—
5 全日本マスターズパワーリフティング選手権大会	表2	—	—	—	◎ *1	—	—	—	◎ *1
6 全日本ベンチプレス選手権大会	表3	◎	—	—	—	◎	—	—	—
7 全日本サブジュニアベンチプレス選手権大会	表3	—	◎	—	—	—	◎	—	—
8 全日本ジュニアベンチプレス選手権大会	表3	—	—	◎	—	—	—	◎	—
9 全日本マスターズベンチプレス選手権大会	表3	—	—	—	◎ *1	—	—	—	◎ *2
10 ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会	表4	◎	◎	◎	◎ *1	◎ *3	◎ *3	◎ *3	◎ *3
11 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会	表5	◎	◎	◎	◎ *1	◎ *4	◎ *4	◎ *4	◎ *4

※上記1~9:フルギア大会、10~11:ノーギア大会

1-2. 以下のカテゴリーについては、出場標準記録を設けないものとする

- \*1. 全ての全国大会における、マスターズIV部門。(カレンダーイヤーによる70歳以上)
- \*2. 全日本マスターズベンチプレス選手権大会における、女子マスターズの全部門
- \*3. ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会における、女子の全部門。
- \*4. ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会における、女子の全部門。

2. 選手の実績として認められる有効期間と競技会

2-1. 選手の実績は、次に定める期間および競技会における成績を有効とする

2-2. 有効期間は、当該全国大会の前年度開催日の初日から、当年度の申込み締切日までとする。(大会当日の記録を含む) 但し、その期間が6ヶ月未満となる場合は、別途定めるものとする。

2-3. 有効とする競技会は、以下のとおりとする。

1) 日本国内で開催されるJPA公認競技会であること。

例1) 平成29年度全日本マスターズパワーリフティング選手権大会においては、平成28年度の同大会の成績は有効である。

また、同大会以降開催の他の全国大会(全日本男女パワーリフティング選手権大会等)の成績も有効である。

2) IPF・APF主催ならび傘下協会主催の各世界選手権大会

原則として、カテゴリー(フルギア/ノーギア)、および競技種別(パワーリフティング/ベンチプレス)は同一であること。

パワーリフティング競技会のベンチプレス種目の記録がシングルベンチプレス競技の標準記録を突破した際は、従来通りそれを認める。

但し、ノーギア大会でフルギア全国大会の標準記録を突破した場合は、それを認める。

例1) フルギア大会での成績が、ノーギア全国大会の標準記録を超えていたとしても、それへの出場はできない

2-4. マスターズIV等標準記録を定めないカテゴリーでも、上記2-2.で定められた期間内に最低1回以上の公式戦参加が必要となる。

参加が無い場合は、標準記録の有無にかかわらず、当該競技会への参加要件を満たさないものとして扱う。

なお、この項は、平成27年6月1日以降に実施される全国規模競技会すべてに適用される。

### 3. 実績と異なる階級への出場について

選手は、標準記録以上の成績を納めた際の階級と異なる階級へは、出場はできないものとする。  
但し、体重より更に重い階級の標準記録を突破している場合のみ、その重い階級への出場は認められる。

例1) 74kg級で出場した際に、83kg級の標準記録まで突破している選手は、66kg級へは出場できないが、83kg級には出場できる。

### 4. 推薦枠について

4-1 全日本パワーリフティング選手権大会においては、標準記録に満たない選手であっても、次の基準においてブロック推薦選手および学連推薦選手の出場を認めることができる。

#### 1) ブロック推薦枠

・都道府県大会優勝者またはブロック大会上位入賞者であり、当該ブロック長の推薦があり技術委員会が認めた選手は、ブロック毎に男女合計3名までの出場を可能とする。

・ブロックはJPA組織体系による次の8ブロックとする。

①北海道・東北、②関東、③東海、④北信越、⑤近畿、⑥中国、⑦四国、⑧九州・沖縄

#### 2) 学連推薦枠

・全日本学生選手権大会優勝者であり、全日本学生連盟理事長の推薦があり技術委員会が認めた選手は、男女合計3名までの出場を可能とする。

4-2 全日本ベンチプレス選手権大会においては、標準記録に満たない選手であっても、次の基準において、ブロック推薦選手の出場を認めることができる。

#### 1) ブロック推薦枠

・都道府県大会優勝者またはブロック大会上位入賞者であり、当該ブロック長の推薦の上、技術委員会が認めた選手は、ブロック毎に男女合計3名までの出場を可能とする。

・ブロックはJPA組織体系による次の8ブロックとする

①北海道・東北、②関東、③東海、④北信越、⑤近畿、⑥中国、⑦四国、⑧九州・沖縄

4-3 出場標準記録を有するJPA主催の全ての全国規模競技会においては、標準記録に満たない選手であっても、前項5-1および5-2にかかわらず、次の基準において大会主管協会推薦の選手の出場を認めることができる。

#### 1) 大会主管協会推薦枠

・大会を主管する都道府県協会に登録している選手であり、主管協会理事長の推薦の上、技術委員会が認める選手は、男女合計3名までの出場を可能とする。

4-4 上記いずれの推薦枠行使に際しても、当該競技会の標準記録獲得期間内に公式競技会に出場した選手であり、かつ当該競技会申込締切前に事前に推薦手続きならび出場申込が完了した場合に限り有効とする。

【表2】各全日本パワーリフティング選手権大会、出場標準記録

	階級 kg級	一般	ジュニア マスターズⅠ	マスターズⅡ	サブジュニア マスターズⅢ
男子	53 ※	-	415	-	280
	59	515	465	410	310
	66	570	515	455	340
	74	620	560	500	370
	83	670	605	535	400
	93	710	640	570	425
	105	745	670	600	450
	120	775	700	620	465
	+120	790	710	635	475
女子	43 ※	-	210	-	140
	47	255	230	200	155
	52	280	250	225	170
	57	300	270	240	180
	63	315	285	250	190
	72	330	300	260	200
	84	345	310	270	205
	+84	350	315	275	210

【表3】各全日本ベンチプレス選手権大会、出場標準記録

	階級 kg級	一般	ジュニア マスターズⅠ	サブジュニア マスターズⅡ	マスターズⅢ
男子	53 ※	-	107.5	97.5	-
	59	135	120	107.5	87.5
	66	147.5	132.5	117.5	95
	74	160	145	127.5	105
	83	172.5	155	137.5	115
	93	185	165	147.5	122.5
	105	195	175	155	130
	120	200	180	160	135
	+120	205	185	165	140
女子	43 ※	-	50	45	-
	47	60	55	47.5	-
	52	65	60	50	-
	57	70	65	55	-
	63	75	70	60	-
	72	82.5	75	65	-
	84	90	80	70	-
	+84	95	85	75	-

(女子マスターズには標準記録を設定しない)

【表4】ジャパクラシックパワーリフティング選手権大会、出場標準記録

	階級 kg級	一般	ジュニア マスターズⅠ	マスターズⅡ	サブジュニア マスターズⅢ
男子	53 ※	-	310	-	190
	59	385	345	310	210
	66	425	380	340	235
	74	465	415	370	255
	83	500	450	400	275
	93	530	480	425	290
	105	560	505	445	310
	120	580	520	465	320
	+120	590	530	475	325

【表5】ジャパクラシックベンチプレス選手権大会、出場標準記録

	階級 kg級	一般	ジュニア マスターズⅠ	サブジュニア マスターズⅡ	マスターズⅢ
男子	53 ※	-	82.5	72.5	-
	59	100	90	80	65
	66	110	100	90	72.5
	74	120	110	97.5	80
	83	130	117.5	105	85
	93	140	125	112.5	90
	105	147.5	132.5	120	95
	120	155	140	125	100
	+120	160	145	130	105

【表2～5共通】 ※印の階級は、ジュニア、サブジュニアのみ対象

関係各位

技術委員長 阿南 喜裕  
(公印省略)

平成30年度 JPAが主催する全国規模の競技会における出場標準記録について

1. 出場標準記録を設ける競技会

- 1-1. 表1に定める全国規模競技会(以下、「全国大会」と称す)においては「出場標準記録」を設けるものとし、選手はその記録以上の実績を有していなければならない。尚、出場標準記録は、性別、年齢カテゴリー、階級ごとに設けるものとし、その記録は別表による。

【表1】 JPAが出場標準記録を設定する全国大会

競技会名	出場標準記録	男子 実施カテゴリー				女子 実施カテゴリー			
		一般	サブジュニア	ジュニア	マスターズ1～4	一般	サブジュニア	ジュニア	マスターズ1～4
1 全日本男子パワーリフティング選手権大会	表2	◎	—	—	—	—	—	—	—
2 全日本女子パワーリフティング選手権大会	表2	—	—	—	—	◎	—	—	—
3 全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会	表2	—	◎	—	—	—	◎	—	—
4 全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会	表2	—	—	◎	—	—	—	◎	—
5 全日本マスターズパワーリフティング選手権大会	表2	—	—	—	◎ *1	—	—	—	◎ *1
6 全日本ベンチプレス選手権大会	表3	◎	—	—	—	◎	—	—	—
7 全日本サブジュニアベンチプレス選手権大会	表3	—	◎	—	—	—	◎	—	—
8 全日本ジュニアベンチプレス選手権大会	表3	—	—	◎	—	—	—	◎	—
9 全日本マスターズベンチプレス選手権大会	表3	—	—	—	◎ *1	—	—	—	◎ *1
10 ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会	表4	◎	◎	◎	◎ *1	◎	◎	◎	◎ *1
11 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会	表5	◎	◎	◎	◎ *1	◎	◎	◎	◎ *1

※上記1～9:フルギア大会、10～11:ノーギア大会

- 1-2. 以下のカテゴリーについては、出場標準記録を設けないものとする。

\*1. 全ての全国大会における、マスターズ4部門、(カレンダーイヤーによる70歳以上)

※全ての全国大会において、女子の標準記録を新設する。(マスターズ4部門を除く)

2. 選手の実績として認められる有効期間と競技会

- 2-1. 選手の実績は、次に定める期間および競技会における成績を有効とする。

- 2-2. 有効期間は、当該全国大会の前年度開催日の初日から、当年度の申込み締切日までとする。(大会当日の記録を含む) 但し、その期間が6ヶ月未満となる場合は、別途定めるものとする。

- 2-3. 有効とする競技会は、以下のとおりとする。

- 1) 日本国内で開催されるJPA公認競技会であること。

例1) 平成30年度全日本マスターズパワーリフティング選手権大会においては、平成29年度の同大会の成績は有効である。

また、同大会以降開催の他の全国大会(全日本男女パワーリフティング選手権大会等)の成績も有効である。

- 2) IPF・APF主催ならび傘下協会主催の各世界選手権大会

原則として、カテゴリー(フルギア/ノーギア)、および競技種別(パワーリフティング/ベンチプレス)は同一であること。

パワーリフティング競技会のベンチプレス種目の記録がシングルベンチプレス競技の標準記録を突破した際は、従来通りそれを認める。

但し、ノーギア大会でフルギア全国大会の標準記録を突破した場合は、それを認める

例1) フルギア大会での成績が、ノーギア全国大会の標準記録を超えていたとしても、それへの出場はできない。

- 2-4. マスターズIV等標準記録を定めないカテゴリーでも、上記2-2.で定められた期間内に最低1回以上の公式戦参加が必要となる。

参加が無い場合は、標準記録の有無にかかわらず、当該競技会への参加要件を満たさないものとして扱う。

なお、この項は、平成27年6月1日以降に実施される全国規模競技会すべてに適用される。

### 3. 実績と異なる階級への出場について

選手は、標準記録以上の成績を納めた際の階級と異なる階級へは、出場はできないものとする。  
但し、体重より更に重い階級の標準記録を突破している場合のみ、その重い階級への出場は認められる。

例1) 74kg級で出場した際に、83kg級の標準記録まで突破している選手は、66kg級へは出場できないが、83kg級には出場できる。

### 4. 推薦枠について

4-1 全日本パワーリフティング選手権大会(一般のみ)においては、標準記録に満たない選手であっても、次の基準においてブロック推薦選手および学連推薦選手の出場を認めることができる。

#### 1) ブロック推薦枠

・都道府県大会優勝者またはブロック大会上位入賞者であり、当該ブロック長の推薦があり技術委員会が認めた選手は、ブロック毎に男女合計3名までの出場を可能とする

・ブロックはJPA組織体系による次の8ブロックとする

①北海道・東北、②関東、③東海、④北信越、⑤近畿、⑥中国、⑦四国、⑧九州・沖縄

#### 2) 学連推薦枠

・全日本学生選手権大会優勝者であり、全日本学生連盟理事長の推薦があり技術委員会が認めた選手は、男女合計3名までの出場を可能とする。

4-2 全日本ベンチプレス選手権大会(一般のみ)においては、標準記録に満たない選手であっても、次の基準において、ブロック推薦選手の出場を認めることができる。

#### 1) ブロック推薦枠

・都道府県大会優勝者またはブロック大会上位入賞者であり、当該ブロック長の推薦の上、技術委員会が認めた選手は、ブロック毎に男女合計3名までの出場を可能とする。

・ブロックはJPA組織体系による次の8ブロックとする

①北海道・東北、②関東、③東海、④北信越、⑤近畿、⑥中国、⑦四国、⑧九州・沖縄

4-3 出場標準記録を有するJPA主催の全ての全国規模競技会においては、標準記録に満たない選手であっても、前項4-1および4-2にかかわらず、次の基準において大会主管協会推薦の選手の出場を認めることができる。

#### 1) 大会主管協会推薦枠

・大会を主管する都道府県協会に登録している選手であり、主管協会理事長の推薦の上、技術委員会が認める選手は、男女合計3名までの出場を可能とする。

4-4 上記いずれの推薦枠行使に際しても、当該競技会の標準記録獲得期間内に公式競技会に出場した選手であり、かつ当該競技会申込締切前に事前に推薦手続きならび出場申込が完了した場合に限り有効とする。



【表2】各全日本パワーリフティング選手権大会、出場標準記録

男子

階級	53※	59	66	74	83	93	105	120	120+
一般	-	515	570	620	660	700	740	770	790
ジュニア マスターズ1	415	465	515	560	595	630	665	695	710
マスターズ2	-	410	455	500	527.5	560	592.5	615	635
サブジュニア マスターズ3	280	310	340	370	395	420	445	460	475

女子

階級	43※	47	52	57	63	72	81	81+
一般	-	255	280	300	315	330	345	350
ジュニア マスターズ1	210	230	250	270	285	300	310	315
マスターズ2	-	200	225	240	250	260	270	275
サブジュニア マスターズ3	140	155	170	180	190	200	205	210

【表4】ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会、出場標準記録

男子

階級	53※	59	66	74	83	93	105	120	120+
一般	-	395	435	475	510	535	560	580	590
ジュニア マスターズ1	320	355	390	425	460	482.5	505	520	530
マスターズ2	-	315	347.5	380	407.5	427.5	445	465	475
サブジュニア マスターズ3	195	215	240	260	280	292.5	310	320	325

女子

階級	43※	47	52	57	63	72	81	81+
一般	-	190	210	225	235	247.5	257.5	262.5
ジュニア マスターズ1	157.5	172.5	187.5	202.5	212.5	225	232.5	235
マスターズ2	-	150	167.5	180	187.5	195	202.5	205
サブジュニア マスターズ3	105	115	127.5	135	142.5	150	152.5	157.5

【表3】各全日本ベンチプレス選手権大会、出場標準記録

男子

階級	53※	59	66	74	83	93	105	120	120+
一般	-	135	147.5	160	172.5	185	195	200	205
ジュニア マスターズ1	107.5	120	132.5	145	155	165	175	180	185
サブジュニア マスターズ2	97.5	107.5	117.5	127.5	137.5	147.5	155	160	165
マスターズ3	-	87.5	95	105	115	122.5	130	135	140

女子

階級	43※	47	52	57	63	72	81	81+
一般	-	60	65	70	75	82.5	90	95
ジュニア マスターズ1	50	55	60	65	70	75	80	85
サブジュニア マスターズ2	45	47.5	50	55	60	65	70	75
マスターズ3	-	40	42.5	45	47.5	52.5	57.5	60

(男女とも、マスターズ4には標準記録を設定しない)

【表2～5共通】 ※印の階級は、ジュニア・サブジュニアのみ対象、数字の赤字は改定または新設

【表5】ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会、出場標準記録

男子

階級	53※	59	66	74	83	93	105	120	120+
一般	-	107.5	117.5	127.5	137.5	147.5	155	160	165
ジュニア マスターズ1	87.5	95	105	115	125	132.5	140	145	147.5
サブジュニア マスターズ2	77.5	85	95	102.5	110	117.5	125	127.5	130
マスターズ3	-	70	75	82.5	90	95	100	105	107.5

女子

階級	43※	47	52	57	63	72	81	81+
一般	-	45	47.5	52.5	55	60	67.5	70
ジュニア マスターズ1	37.5	40	45	47.5	52.5	55	60	62.5
サブジュニア マスターズ2	32.5	35	37.5	40	45	47.5	52.5	55
マスターズ3	-	30	32.5	35	37.5	40	42.5	45

技委発第16-1号通達  
平成29年 1月 1日

関係各位

技術委員長 阿南 喜裕  
(公印省略)

## ルール変更に関する通達

現在運用されているJPAルールを下記のとおりに変更します。

今回の通達に関する運用は 2017年1月1日からとしますので、ご理解の上、周知徹底をお願い致します。

### 1. 日本記録の取り扱いに関して

- ① 各種全日本選手権では、大会タイトルの記録更新は500g単位、それ以外のタイトルでは通常の2.5kg単位での更新とする。
- ② 上記①に併せて、ダブルエントリー等で複数カテゴリー（一般とその他（ジュニア、マスターズ等）との併催時）にエントリーする際は、一般カテゴリーの新記録時のみ、端数500g単位での記録更新を認める。
- ③ ただし、上記②の場合、一般カテゴリー以外の新記録時は、通常通り2.5kg単位での記録更新を認める。

### 2. 公認器具・個人用具に関して

- ① 現段階のIPF公認品リスト上で、2016年度より複数の新製品が追加となっているので、改めて最新版の公認品リストを下記に掲載する。  
(以下掲載サイト先参照)  
[http://www.powerlifting-ipf.com/fileadmin/ipf/data/rules/approved-list/IPF\\_Approved\\_List\\_01.02.2016V1\\_1\\_.pdf](http://www.powerlifting-ipf.com/fileadmin/ipf/data/rules/approved-list/IPF_Approved_List_01.02.2016V1_1_.pdf)
- ② 2015年末で公認取り消しとなったメタル社製品の一部商品に関して、国内での対応は、2017年12月31日まではIPF公認品と同等に扱い猶予期間を設け、その期間は全国大会、日本記録挑戦時も使用可能とする。ただし、2018年1月1日以降は、国内すべての競技会で使用を認めない。
- ③ 公認器具としては、ザオバ社製のプレートが2015年8月25日付でJPA公認品となり、更にバー、カラー、プレートが2016年11月15日付でIPF公認品となった。
- ④ 2017年1月1日以降、IPFとしての対応に変更があれば、上記①②③に関してもこの限りではない。
- ⑤ 上記を含め、(1)公式競技会でのバー、カラー、プレートはJPA公認器具を必ず使用すること。(2)また、個人用具においても、国内使用は下記に示す通りのものを使用すること。これらに該当しない場合は、(1)競技会公認取り消し、(2)競技者の失格、となる場合があるので注意すること。

#### 【全国競技会、ブロック大会での日本記録挑戦時】

IPF公認品：ベンチシャツ、リフティングスーツ、ニーラップ、リストラップ、スリーブ  
公認品以外規定内のもの：ベルト、ツリパン、シューズ等

#### 【その他地方大会】

IPF公認品：ベンチシャツ、リフティングスーツ、ニーラップ、スリーブ  
公認品以外規定内のもの：ベルト、ツリパン、リストラップ、シューズ等

### 3. 公認審判員ランキング制度新設に関して

- ① JPAが主催する各種全日本選手権では、実務に当たった各審判員を評価するランキング制度を新設する。対象は全審判員（陪審員、審判員、テクニカルコントローラすべて含む）とする。
- ② 評価は実務内容、行動等により客観的に数値化され、上位の者はホームページ上に後日発表される。
- ③ 審査員は、技術委員長、大会審判長または技術委員長が指名する者を含め、3名程度で構成される。
- ④ これらの評価を年間累積し、優秀者には全日本選手権での表彰等を含め検討する。累積期間は、4月1日～翌年3月31日間の年度締めとする。
- ⑤ ランキング制度の運用方法等詳細に関しては、別途定める。（技委発第16-4号通達 参照）

### 4. 審判員・役員の服装に関して

- ① JPA公認競技会における審判員服装の規定を、下記のとおりに変更する。

#### 【正装】

男子：濃紺ブレザーを着用し、ズボンはグレー、シャツは白、公認ネクタイを必ず着用。

女子：濃紺ブレザーを着用し、グレーのスカートまたはズボン。シャツ又ブラウスは白、公認ネクタイまたはスカーフ（IPF仕様）を必ず着用。

#### 【軽装】（7～9月開催競技会のみ）

男子：白シャツにグレーのズボン。公認ネクタイを必ず着用。

女子：グレーのスカートまたはズボン。シャツ又ブラウスは白。

公認ネクタイまたはスカーフ（IPF仕様）を必ず着用。

※全国競技会以外では、軽装時に限り、白シャツ又はブラウスの代わりにJPA公認のポロシャツを着用しても良い。（全国競技会ではポロシャツ着用不可）

※公認ネクタイまたはスカーフの色は、1級または2級：赤、3級：紺 とする。

※実務時の靴下と靴は、黒を基本とする。派手な色合いのスポーツシューズ等は避けること。

※正装時のブレザー着脱、軽装時でのネクタイ着脱に関しては、状況必要に応じて大会審判長が指示する。特に指示が無い場合は、上記に従い用意すること。

- ② 本部役員、大会役員に関しても、審判員服装に準拠したもの、または各大会実行委員会が用意したもので統一し、一見して大会役員であることが分かるものとする。（来賓は除く）
- ③ なお、従来販売していたレフリーワッペン（フェルト地長方形）は廃止とする。ブレザー用の階級別バッジに関しては、従来通り使用を継続する。
- ④ 上記①②③に関しては、2018年1月1日より完全移行とし、2017年内は猶予期間とする。現在使用中のネクタイ色が自身の階級と合致しない場合、その救済措置は決定次第追って通達する。

《問い合わせ先》

TEL 090-4140-8270（22時以降）

FAX 086-899-6970

メール [anany1975@yahoo.co.jp](mailto:anany1975@yahoo.co.jp)

JPA 技術委員会 阿南 喜裕